

今

まで何も起こらなかったからといって、明日も大丈夫という保証はありません。
あなたの生活習慣を見直して、防火意識を高め正しい習慣を身につけましょう。

1 ストープの周辺は すっきりと

特にカーテン、洗濯物には要注意。石油ストーブの給油、移動は必ず火を消してから。



2 揚げ物のときは その場を離れない！

電話や来客の対応は、必ず火を消してから。そばに燃えやすいものを置かない心掛けも。



3 寝たばこ、ポイ捨て厳禁！

寝たばこは、しない、させない習慣を。火のついたたばこの放置やポイ捨ても厳禁。



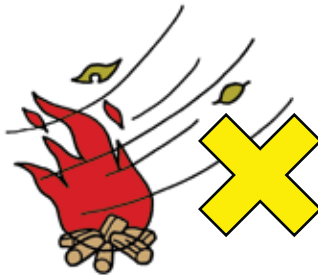
4 放火をさせない 環境づくりを

家の周りに燃えやすいものを置かない。物置、車庫などのカギはしっかりと。



5 ゴミ等の 野焼きは禁止！

ゴミ等の野焼きは法律で禁止されていますので、ご協力ください。



6 子どもにはマッチやライターで遊ばせない！

日頃のしつけをしっかりと。目の届くところにマッチやライターを置きっぱなしにしない。



7 風呂の空だきに 注意！

点火のときは浴そうの水量を確かめて。点火・消火は目で確認。煙突も点検。



8 コンセントに こまめな気づかいを

たこ足配線、コンセントまわりのホコリに注意。使わない時はこまめに抜く。



9 就寝前の火の用心！

ガスの元栓、電気製品のコンセントなど指さし点検で火の確認。



10 消火の備えを 万全に！

住宅用火災警報器や消火器を設置して防火訓練には積極参加。



■火災発生時の対応について

火事だ！火が出たらどうする？

消火器がない場合は、ぬれたシーツなどを広げて火元全体を包み、空気を遮断する。

ぬらしたタオルなどで顔や体をおおう。

煙の中を逃げるときはできるだけ姿勢を低くして。ぬれタオルで口をおおうなどして煙を避ける。

天井に燃え移ったらもう手に負えない。消火の深追いをしないで、いさぎよくあきらめて避難する。



カーテンは力いっぱいひきずりおろし、天井へ火が燃え移らないようにする。

いったん外へ逃げたら、再び中にはもどらない。

ふすまや障子戸は思いっきりけり倒し、低い位置で消火。



服装や持ち物にこだわらず、できるだけ早く避難する。

「火事だ～！」の声を聞いたらすぐ119番通報。誰かが通報しているだろうと考えずに、まよわずダイヤルを。

逃げ遅れた人がいるときは、近くの消防隊にすぐ知らせる。

避難はお年寄り、子ども、病人を最優先。

住宅用火災警報器の設置について！

消防法の改正により全ての住宅に住宅用火災警報器等の設置が義務付けられています。火災警報器は火災を早期に発見し、あなたとあなたの家族を守ってくれます。

[火災警報器に関するお問い合わせは]

●住宅用火災警報器相談室

TEL (0120) 565-911

●備北地区消防組合消防本部予防課

TEL (0824) 63-1191 (代表)

[関連サイト]

● <http://www.119-bihoku.jp/fire-alarm/>

1. まず大声で知らせる

- 「火事だ～」と大声を出し、家族や近所にも知らせる。
- 小さな火でも119番。当事者は消火にあたり、近くの人に通報をたのむ。



2. 早く消火する

- 出火から5分以内が消火できる限界。
- 水や消火器だけでなく、座ぶとんでたたき、ふとんをかぶせて密閉するなど機転をきかせて消火にあたる。



3. 早く逃げる

- 天井に火が燃え移ったらあきらめてすぐ避難。
- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて。

